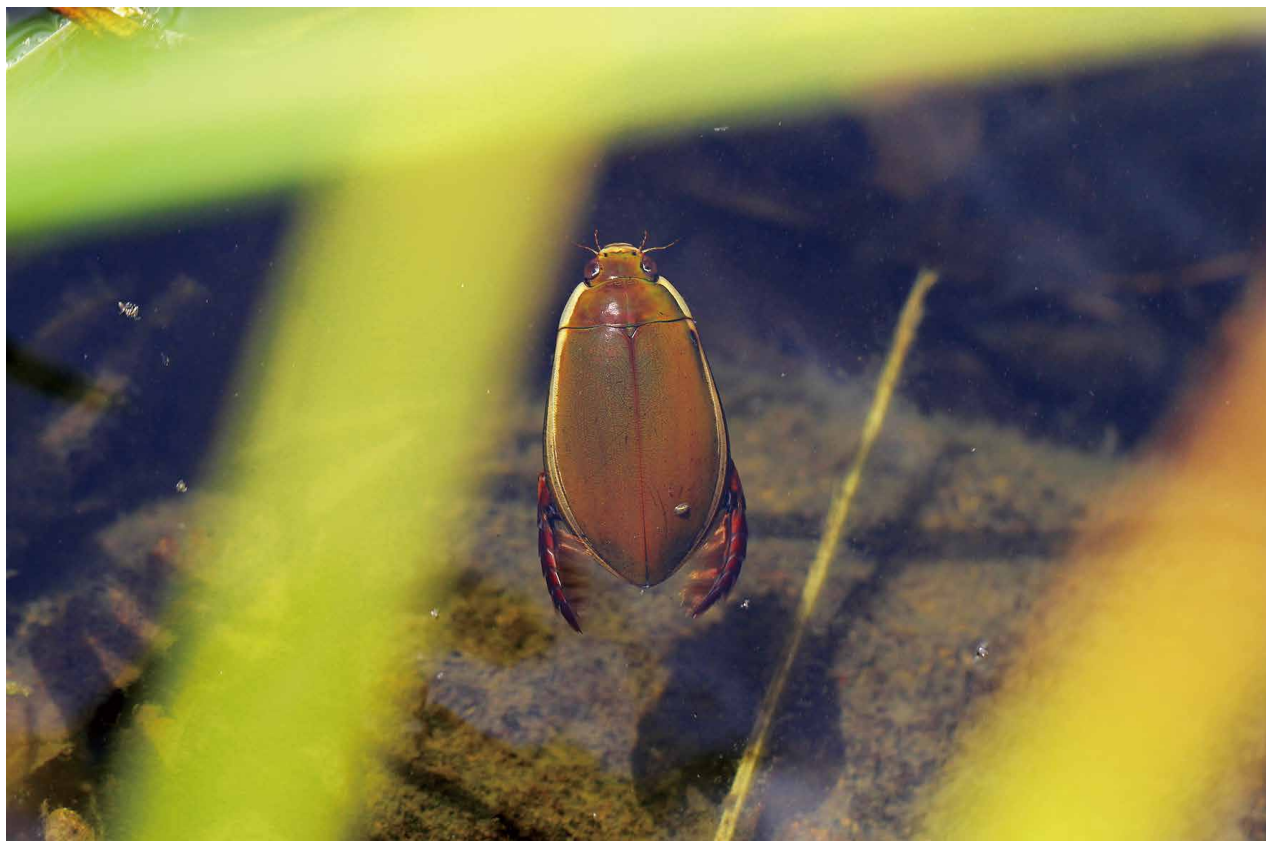


ちっちゃな自然 み〜つけた！

NO.132

自 然 を 愛 そ う 那 須 塩 原



池中泳ぐゲンゴロウ 撮影日時:2015/10/5/14:41 撮影場所:黒磯地区

あこがれの水生昆虫 ～ゲンゴロウ～

日本ではこれまでに130種以上のゲンゴロウ類が確認されています。その多くは体長1cmに満たない小さな種ですが、ゲンゴロウ(ナミゲンゴロウ)は4cm程もある国内最大級の水生昆虫の一つです。

ゲンゴロウの体は、水の抵抗を受けない流線形をしています。後あしにはブラシ状の長い毛が生えていて、水中を自由自在に泳ぎ回ることができます。また、ゲンゴロウといえば、おしりからはみ出した泡が印象的です。これは泡の表面で酸素と二酸化炭素を交換するためと考えられています。はねと背中の中にすき間があり、そこに空気をためて息をします。

ゲンゴロウは誰もが知っている有名な昆虫です。しかし、実際に野外で見たことのある人は少ないのではないのでしょうか。かつてはため池などで普通に見られたそうですが、近年は土地改良や水質の変化、ブラックバスやアメリカザリガニな

ど外来種の侵入、さらにマニアの採集などにより、全国的に減少しています。私も昨年、ようやく黒磯地区で会うことができ、とても感動しました。

ゲンゴロウがすむ豊かな環境を維持してきた地域の人たちに感謝するとともに、多くの生き物がすむ里山の環境がこれから先も受け継がれていくことを願っています。

じゅんじ



前あしを使って器用に獲物を食べるゲンゴロウ

